

第51回青森県高等学校新人陸上競技対校選手権大会 兼 第31回東北高等学校新人陸上競技選手権大会青森県予選会 申合せ事項

1 練習会場等について

- (1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で、「練習会場使用日程表」にしたがい実施すること。
- (2) 棒高跳を除く本競技場内での練習は、前日練習のみとする。補助競技場及び投てき場については、補助競技場係の指示に従うこと。特に、投てき練習については、監督の付き添いのもと事故防止に努めること。

2 競技場について（厳守）

- (1) 室内周回路（1周543m）は、スパイクによる破損に繋がるためスパイクを着用して走らないこと。
- (2) ニードルピンの使用は、競技のみ認める。本競技場内及び補助競技場での前日練習、並びに大会期間中の補助競技場ではニードルピンを使用しないこと。
- (3) 投てき物を使用する練習は投てき場で行うものとし、補助競技場では使用しないこと。

3 招集について

- (1) 本大会の招集所は、補助競技場内入口からの連絡通路を通った本競技場内（200mスタート付近スタンド下）に設ける。
- (2) 本競技場内に競技種目ごとに待機所（第1～4待機所・フィールド競技待機所）を設けてあるため、競技者は競技者係の指示にしたがい移動すること。
- (3) 混成競技の招集は、第1日及び第2日の最初の種目のみ招集所で行う。2種目以降は、混成競技者控室で確認を受け、当該競技役員の指示にしたがうこと。

4 競技について

- (1) 棒高跳の競技者は、「アップライト申告書」を招集所で受け取り、自分の希望する支柱（アップライト）の位置を記入し、招集所に提出すること。
- (2) 三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子8mの地点に設置する。ただし、天候その他の条件によって変更する場合もある。
- (3) 投てき競技の計測は、光波距離計測装置を使用する。
- (4) 以下の競技については計測標準記録を設け、これを下回るものは計測しない。。ただし、天候その他の条件によって変更する場合もある。

男子走幅跳（予選）：5m70 女子走幅跳：4m30

- (5) フィールド種目に出場している競技者が、競技区域の外にいる者によって録画された映像を見る場合、コーチ席（スタンドのコーチングエリア）からの吊り下げにより録画機材を受け取り、コーチングエリア下でのみ録画機材を操作し録画映像を見ることが可能である。
- (6) 走高跳および棒高跳において東北代表者数を越える同順位があった場合は、ジャンプオフ方式を適用し、東北大会出場決定戦を行い、代表者を決定する。

5 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

(1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決定するまで下記の上げ方とする。

種目	練習	上げ方						
		1	2	3	4	5	6	以降
男子走高跳	1m60 : 1m80	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	3cm 刻み
女子走高跳	1m25 : 1m50	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	3cm 刻み
男子棒高跳	2m50 : 3m00 : 3m50 : 4m00	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	10cm 刻み
女子棒高跳	1m50 : 2m00 : 2m50 : 3m00	1m60	1m70	1m80	1m90	2m00	2m10	10cm 刻み

(2) 上記のバーの上げ方を、天候その他の条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。

(3) 第1位が同成績の場合、ジャンプオフは特別の定めがない限り T R 26.9 にしたがって行われなければならない。その際の順位決定のバーの上げ下げは、走高跳 2 c m、棒高跳 5 c m とする。

(4) 混成競技の走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。また、バーの上げ方を、天候その他の条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。

種目	練習	上げ方						
		1	2	3	4	5	6	以降
男子走高跳	1m35 : 1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	3cm 刻み
女子走高跳	1m10 : 1m30	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	3cm 刻み

6 競技場への入退場について

すべての競技者は、招集後競技者係の指示・誘導にしたがって各種目待機所へ室内周回路を通って移動すること。また、競技終了後は本競技場内室内周回路を通って各種目待機所に戻り、自分の荷物を持って補助競技場から退場する。

※室内周回路のタータンが薄く、スパイクによる破損に繋がるため絶対に走らないこと。（厳守）

7 表彰について

(1) 各種目 6 位までの入賞者は、競技終了後に決勝待機所から表彰者控室に移動し、待機すること。

その際、表彰係の指示を受けること。表彰後は、メインコンコースのゲート 2 から退場する。

(2) 学校対校における総合の部の表彰は、男子、女子ともに 6 位までとする。

(3) トラック競技およびフィールド競技の部の表彰は、男子、女子ともに 3 位までとする。

8 応援について

(1) メインスタンド（第 4 コーナーゲートから第 1 コーナーゲート間）での集団応援は終日禁止とする。

(2) フィールド競技中の集団応援はバックスタンド中央通路より上方、サイドスタンドでは上段の 3 列のみで行うこと。

9 その他

- (1) 大会本部でトレーナーを補助競技場トレーナー室に配置している。利用は選手に限る。
- (2) 本競技場の横断幕の設置は1校1枚、のぼり旗の設置は1校2本以内とし、本競技場のメイン・サイド・バックの各スタンド最上部のフェンスに、通路や座席をふさがないように、ひもで括りつけて設置すること。なお、掲揚ポールの使用や、個人名入りの横断幕・のぼり旗の設置は禁止する。別ページの「横断幕・のぼり旗の設置について」を参照のこと。
- (3) 芝生エリアへのテント設営に関しては、場所の指定はせずフリーとする。ただし、テントエリアに未回収のペグが散見されており、芝刈機での作業において重篤な事故が発生する可能性があるため、責任をもって使用したペグを回収するよう、テント設営前及び撤収後に、「テント設営管理報告書」T I Cに提出すること。「テント設営管理報告書」はHPに掲載するほか、T I Cにて配布する。
- (4) サイド・バックスタンド最上部にシートエリアを設置する。高校は、高体連陸上競技専門部で割り振りした場所を利用すること。
- (5) 上記の他、室内練習場及びバックスタンド下の室内コンコースを待機場所として解放する。非常口や機械室等の扉付近では、開閉が可能なようスペースを必ず空けて使用すること。また、壁に計時物を貼る際は必ず養生テープを使用すること（ガムテープは不可）。競技エリアに近い場所であるため、整然とした環境づくりに配慮して使用すること。
- (6) 競技者が安心して競技に専念できるよう、カメラ撮影禁止エリアを設ける。盗撮行為が疑われるような「迷惑行為」防止に向け、撮影者に対しては本大会役員より撮影理由を確認される場合がある。
- (7) 本大会が認めた報道機関等が撮影した動画、写真、競技結果が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページ等で公開されることがある。
- (8) 8月30日（日）13時15分より、投てき練習場の穴埋めを実施するため、投てき競技に参加した各校は、2名以上参加すること。